

Info&Report 編 学力向上研修会



10月10日(火)に「学力向上研修会」を行いました。

この研修会は、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、本市の児童生徒の課題を明らかにするとともに、その課題をどのように解消していくか、また、昨年度より本市で進めている「読み解く力」向上についてどのような方法で授業改善を進めていけばいいかを考える研修です。

今年度は、昨年度に引き続き、富山県総合教育センターの学力向上推進チームより講師をお迎えし、市内小・中学校の教務主任、研究主任18名が参加しました。

まず昨年度より「読み解く力」向上のために各校で行っていることをグループ内にて紹介しました。

その後、講師の先生から、今年度の全国学力・学習状況調査にて本市の児童生徒がよくできた問題と誤答・無解答の問題を教えていただき、「では何を指導していくか、どのように指導していくか」について助言いただきました。

その際、本市の先生方が最近作った指導案の中に、実は「読み解く力」を向上させる手立てが多数記されていることを教えていただきました。

最後は、各校でどのような指導ができるか、その具体策を検討しました。「しっかり音読させる」「質問や課題の意味を理解しているか確かめる」「アウトプットさせて理解度を確かめる」など、日々の授業で行える方法がたくさん出されました。

会の最後に講師からの「『読み解く力』の向上は、あくまで手段である。目指すのは、児童生徒の学力の向上。そのためにも日々の授業を地道に改善していく」という言葉が印象に残りました。

今年度も残り半分。子どもたちの学力を高めるために、地道に、そして明確に、授業改善を進めていきましょう。

5 事後アンケートより (16名回答)



感想

<p>県の学力向上講演会とも重なる部分があり、せっかくの研修会なのですがもったいないと思いました。そうは言っても、読み解く力を付けていくことは喫緊の課題なので頑張っていきたいです。他の学校と情報交換できたことがありがたかったです。</p>
<p>「学力調査は特別なものではなく、毎日の授業の展開の仕方を示しているということ、だから、授業改善につながる」という考え方をもつことが大切であると思いました。</p>
<p>指導内容がたくさんある中、時間が取れないというところもあるが、やはり授業の中で取り組ませるしかないのも本当である。学年に応じて、地道に授業で取り組んでいきたいと思う。</p>
<p>「読み解く力を高める」「学力向上」に向けてどのような取組をしたらよいか、どんなことが大切かを考えることで、授業改善や学校全体での取組のアイデアをもつよい機会となった。他校の取組や他の先生方の意見を参考にすることで、視点が広まるとともに、大いに学ぶことができた。</p>
<p>全国学テと読み解く力の関連が分かりやすかったです</p>
<p>他校の取り組みを聞くことができ参考になりました。自分たちでできることに取り組み、子供たちに力をつけていきたいと感じた。</p>
<p>本日はありがとうございました。 学テの分析は、市で考えても仕方がない点が多く、学校ごとの分析が一番大事かと思えます。分析の仕方であれば、もう少し早い時期に研修会を開いていただくと、各校でより分析がしっかりとなされ、2学期以降の対策を考えることができると思いました。読み解く力については、昨年度より何度も研修会が開かれていますので、改めてこの時期に今回のような研修会はなくてもよいのかな、と思いました。</p>
<p>学力調査の分析から、生徒の実態を把握して、課題に対する今後の改善策を教えてくださいました。校内での研修会等を通して、本校の先生方にお伝えできます。ありがとうございました。</p>
<p>小学校の様子もうかがえてよかった。ありがとうございました。</p>
<p>昨年度は別の学校で勤務だったので、どのように取り組んだ結果が今年の学力調査に表れたのかよくわからなかった。ただ、今年度も本校の研修課題に「読み解く力」の育成を入れていたので、今回の研修結果を残り半年の研修に生かしていきたい。</p> <p>とやま型プログラムは 期に入っており、学校訪問研修において指導主事さんは、視点1 課題意識、視点2 自己調整について力説されていたので、「読み解く力」育成についての意識が本校では薄れそうになってきていた。</p> <p>自分自身、変化が早くてついていけないのが残念です。</p>
<p>今回の研修で得られた内容を、今月の研修会で先生方に紹介して少しずつ取り組むとは思いますが、</p>

年度当初の研修計画とは多少の違いがあって修正が必要となり、次回の全国学力調査まで、わずか半年でどれだけできるかが不安です。

読み解く力について、他校の方と意見を交換できてたいへん勉強になりました。できることから始めていき、子どもたちに力をつけたいと思いました。

読み解く力育成のための手立てをいろいろ伺うことができ、大変参考になりました。

全国学テの滑川市の傾向として、複数の情報を関連づけて捉える力に課題があるとのことだったが、問われていることを正確に読み取り、複数の資料を読み、必要な情報を選択し、それらを関連づけて答えるというのは、とても難易度の高いことだと感じた。

そのような問題を解ける子供たちを増やすために、普段の授業で何ができるかと考えても、子供たちの実態と学テのレベルが離れていて、どこから手をつけたら良いのやら...と悩みながら講話を聞いていた。ただ、講和を聞く中で、読み解く力を着実につけようと取り組んでいく先に、これらの学テの問題に立ち向かえる子供たちの姿があるのかもしれないと思えた。読み解く力の育成であれば普段の授業に取り入れていけることが多くあるので、「読み解く力を育成するアイデア」を参考にしながら取り組んでいきたいと思った。

全国学調の結果をもとに、読み解く力とどう関連しているのか、子供がどこでつまづいているのか、またどのような手立てが必要なのか話を聞き、参考になりました。

また、グループで話し合うことで、これからどんなことを意識して取り組んでいこうか、考えるきっかけとなりました。ありがとうございました。